



2024年3月28日

各位

株式会社九州リースサービス
代表取締役社長 磯山 誠二

九州における ZEH 賃貸マンション開発ファンドへの匿名組合出資について ～省エネ型集合住宅の普及促進～

株式会社九州リースサービス（代表取締役社長 磯山 誠二、以下「当社」）は、鹿児島県鹿児島市にて ZEH^{※1}（Net Zero Energy House）の認証を受けた賃貸マンションの開発・運用を目的とした「合同会社 ZEH 南九州ファンド 1 号」（以下「本ファンド」）へ匿名組合出資を実行しましたので、お知らせいたします。

当社は、2022 年 7 月から東京、千葉、大阪、神奈川での積水ハウス株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 仲井 嘉浩）が設計・施工する ZEH 賃貸マンションの普及を目的としたファンドへの匿名組合出資を通じて、脱炭素社会の実現や環境負荷低減などへの貢献を目指してまいりました。この度、地元九州エリアで、この取り組みを展開してまいります。

当社のほか、昭和リース株式会社（代表取締役社長 平野 昇一）、東銀リース株式会社（代表取締役社長 藤末 浩昭）、肥銀リース株式会社（代表取締役社長 最上 剛）が、本ファンドに対して匿名組合出資を実行いたしました。

日本政府は、2050 年のカーボンニュートラル達成に向け、「第 6 次エネルギー基本計画」（2021 年 10 月閣議決定）において、需要サイドの徹底した省エネの更なる追求として、業務・家庭部門では、「2030 年度以降新築される住宅について、ZEH 基準の水準の省エネ性能の確保を目指す」ことを政策対応のポイントとしています。本ファンドの組成は、こうした国の方針に基づき、ZEH 賃貸マンションの普及促進を支援し、カーボンニュートラル実現に寄与することを目指すものです。

当社は、引き続き付加価値の高い独創性のある総合金融サービス、ソリューション提供に注力し、お取引先企業・地域との共創によるサステナブルな成長と社会課題解決に挑戦してまいります。

該当する SDGs 項目



当社グループは企業理念である「共存共栄」「地域貢献」に基づく事業活動、事業戦略を通じて貢献する SDGs 項目を整理し、重要度や貢献度に応じて取り組むゴールを定め推進してまいります。

※1 ZEH（Net Zero Energy House）とは、快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、1年間で消費する住宅のエネルギー量が正味（ネット）で概ねゼロ以下となる住宅のことをいいます。

詳細は下記経済産業省資源エネルギー庁のホームページをご覧ください。

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/housing/index03.html

<案件概要>

匿名組合出資先	合同会社 ZEH 南九州ファンド 1号
アセットマネージャー	三幸アセットマネジメント株式会社（東京都中央区、代表取締役 前島 康夫）
設計・施工	積水ハウス株式会社
資金使途	ZEH 賃貸マンションの開発資金等
事業の意義	省エネルギーに関する事業： ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の新築 ➤ 住宅におけるエネルギー消費量 20%以上の省エネを達成する住戸を中心とする賃貸マンションが対象 ➤ 高い断熱性による優れた快適・健康性

本件に関するお問い合わせ
株式会社九州リースサービス ファイナンス営業部
TEL : 092-431-2622